

クラス	101	担当教員	う え だ か ず ひ ろ 上 田 和 宏
	テーマ	経済学を使えるようになるろう	
	著書・論文 研究課題等	最近の研究課題は、主に貧困や不平等、幸福感などを測ること。 “Self-assessed Social Position and Poverty”, Review of Income and Wealth, forthcoming, 2013. (共著) ”Measuring inequality of subjective well-being”, Journal of Socio-Economics, vol.40, 2011. （共著）	
ゼミナール概要			
キーワード：経済学			
目的、内容、方法等：経済学部学生だから、経済学が使えるようになることが大事、という素朴な発想に基づいて、オーソドックス（正統的というか古典的？）なスタイルのゼミを行う。 2年生：「経済学の理論を学ぶ」ことを中心に行いながら、「読み、書き、そろばん、ていねいに考えること」の練習も行う。 経済学の基礎知識をつけることとともに、基礎学力をつけることを目指す。 テキストは経済学の入門書である。ただ、マクロ経済学やミクロ経済学の入門書とスタイルが異なる。これを知っていてほしいと思う内容をやさしく丁寧に書いている。しかも、関連のある新聞記事や白書などの記述を取り上げて説明しているので、現実と結びつけて経済学を理解できる本だと思う。 3年生：「経済学を使えるようになる」ことが目標。 自分たちで決めたテーマについて研究して（小）論文を書く。日本、世界あるいは地域の経済問題、貧困・格差、幸福感と経済など、テーマはいろいろと考えられる。自分が深めたことを他人に話ができるようになることを目指す。就職活動で、大学時代に何に打ち込んだかと問われたとき、勉強面では「これ」と言えるものを持つようにする。 4年生：大学での「学習の成果を形として残すこと」が目標。 卒業論文を書き上げる。 ゼミでは、「ていねいに読む」、「わかりやすく書く」、「論理的に考える」、「他人にわかるように話す」力をつける練習をする。また、進路選択についての準備を行う。 教室の中での学習は、現実と結びついて初めて意味がある。したがって、フィールドワークなどゼミ以外の活動に関われるようにサポートするつもりである。 授業計画（スケジュール）：2年生の予定。 （前期）テキストを読み、内容について発表することを中心に行う。 まとめ方、発表の仕方、レポートの書き方などについて練習する。 時事や基礎教養などについての学習も交える。 （後期）参加者と相談して、実際の経済に関するトピックについて書かれた本、あるいは経済学をもっと深めるための本を読み、内容について発表する。 パソコンを使った図表の作り方、簡単な統計の計算について練習する。 ゼミ合宿を行う（2010・2011年は、大阪で中小企業見学）。その他、娯楽は要望に応じて考える。			
使用テキスト		担当教員からのメッセージ	
菅原晃 著 『高校生からわかるマクロ・ミクロ経済学』、 河出書房新社、2013年、1500円（税別）		・教員との相性もあるでしょうから、エントリーシートを出す前に必ず会いに来てください。 ・以下の項目のいくつかにあてはまる人と一緒に勉強したいと思います。 デパ地下で行列があれば並ぶ／食べることが好き／国内・国外で行ったことがない所に行きたい／小説や漫画を読むことができる／本に使うお金をもったいないと思わない／よく考えずにしゃべる／人前で話す自信をつけたい／意欲だけはある／まじめ	